土屋 防災ニュース

2026.10 Vol.22

Writer：Yumiko Komoto
Kaori Hara

ジャパン・レジリエンス・アワード 2023

－ 秋の火災に注意！「火災を防ぐために、普段からできること」－

🔥「その防災、本当に大丈夫？――“ 知っている ” と “ できる ” は違う」

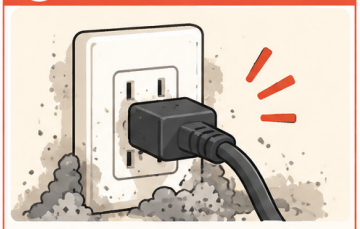
先月は訓練を実施しました。避難経路や消火器の場所を知っていても、いざという時に体が動くとは限りません。消火器の使い方、実際の避難について、備蓄の内容なども確認ができましたか？

1. 避難経路を実際に歩く：所要時間や危険箇所を確認します。
2. 備蓄品の期限をチェックする：水・食料だけでなく、電池・懐中電灯が使える状態か点検します。
3. 連絡方法を決める：V’jica は勿論、災害用伝言ダイヤル（171）の使い方も共有しておきましょう。

「知っている」を「できる」に変えることが、命を守る第一歩です。

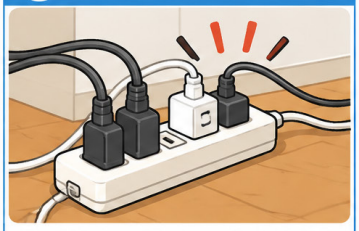
🔥「秋の火災に注意！」 特に秋は空気が乾燥し、火災が起きやすい季節です。暖房器具の使用が増えるこの時期は、日常に潜む火災の原因を確認しておきましょう。

① コンセント周りのほこり



ほこりがたまると、
発熱して火災の原因になります。

② 電源タップのたこ足配線



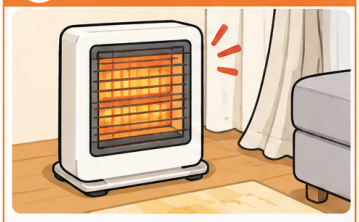
一つのコンセントにたくさんの機器を
つなぐと、過熱して火災の原因になります。

③ モバイルバッテリー



高温の場所や、劣化したものは
発熱・発火の危険があります。

④ 暖房器具の周囲



カーテンや布団、衣類などが近くにあると、
引火して火災につながります。

⑤ 調理中の離席



ちょっとした離席でも、
火が広がることがあります。

⑥ タバコの火の不始末



吸い殻の処理を誤ると、
くすぶりから火災になることがあります。

❓ 防災クイズ（簡易版）

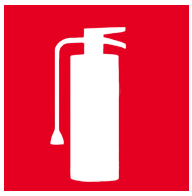
問 1 火災が広がりやすい理由として正しいものはどれ？

ア　空気が湿っている
イ　燃えやすい物が乾いている
ウ　気温が低い

問 2 家庭用消火器の適切な点検頻度として一般的に推奨されるものはどれ？

ア　毎日
イ　10 年に一度
ウ　半年に一度程度の目視点検

今月の防災ピクトグラム 消火器



JIS Z 8210（安全図記号．番号 6.1.1）
防災・緊急設備に関する案内用図の安全図記号です。言語や年齢にかかわらず幅広い利用者に向けて火災発生時に初期消火を行うための消火器があることを示しています。

「消火器」消火器の使い方を「PASS」の 4 つの動作で覚えましょう。

手順	動作	内容
P	Pull（ピンを抜く）	安全ピンを引き抜く
A	Aim（火元を狙う）	ホースやノズルを火の根元に向ける
S	Squeeze（握る）	レバーをしっかり握る
S	Sweep（左右に振る）	左右に振りながら消火する

災害用伝言サービス：録音時間30秒以内・電話番号あたり1～20伝言（「NTT東日本災害への取り組み」より）

伝言ダイヤル 171	171 をおし、録音は「1」、再生は「2」、音声ガイドに従い予めお互いで決めた電話番号を入力すると、伝言の録音・再生ができます。
災害用伝言板（web171）	ネットで web171 にアクセスし、予めお互いで決めた電話番号と伝言を入力します。この電話番号は全国（国内外）から伝言の確認や追加をすることができます。また、伝言ダイヤル 171 に登録されたメッセージを確認することもできます。
体験利用提供日	毎月 1 日と 15 日（00 時 00 分～ 24 時 00 分）、正月三が日（00 時 00 分～ 24 時 00 分）、防災週間（00 時 00 分～ 24 時 00 分）、防災とボランティア週間（1 月 15 日 9 時 00 分～ 1 月 21 日 17 時 00 分）

【土屋防災委員会】の
エックス を フォロー お願いします！

アカウント登録をして、防災に関する様々な情報をGET !!

クイズの答え　問1：イ　問2：ウ

Tsuchiya Co.,Ltd.